

- MATERIAL -

材種と塗装色

オークの特徴 Oak

ブナ科 Quercus spp



トラフ

オーク材には斑（フ）と呼ばれる年輪に対して放射状に広がる組織がある。柾目材には「フ」が大きく帯状に現れ、その模様がトラの縞柄に似ていることからトラフと呼ばれている。



スパイクノット

大きな幹に、ほんの数ミリの小枝が数年にわたり生えていた跡。上の方に生い茂る葉の陰となり枯れて節は途中で消えていく。



縄目

強い風などに耐えながら過酷な条件下で生長した時にあらわれる、縄のような波打った模様の縄目。木材の持つ力強さが、美しい模様となって現れる。



茶筋

地中の養分ミネラル分を吸い上げ、それらが結晶化して導管に堆積したもの。茶色や黒色の筋状の線になる木目のひとつ。



経年変化

ウォールナットの特徴 Walnut

クルミ科 Juglans nigra



材色の濃淡

材色の色合いが、とても幅広いウォールナット。心材はチョコレート色から紫赤色、紫黒色で濃淡があり、辺材は白っぽい淡色。



チヂミ

木目の曲がった部分が見る角度によって表情が大きく変わり、縞模様の美しい木目となる。



節

節の周りの陰の部分は、光の角度により表情が美しく変化する。



白太

木には赤い「赤身(あかみ)」と白い「白太(しらた)」があり、丸太の外側にあたる部分が白太になる。



経年変化

ブナの特徴 Beech

ブナ科 Fagus crenata



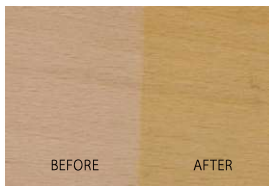
材色の濃淡

ブナ材は部位によって濃淡がある。



節

小さな節は葉節（はぶし）と呼ばれ、枝葉をつけていた名残り。自然に落枝して木の中に取り込まれたもの。



経年変化

材色は時とともに全体に黄色みを帯びてくる。

キャラクターマーク

KASHIWA は、オーク・ウォールナット・ブナなど様々な木材を使用して家具を製造しています。私達人間がそれぞれ違う顔をしている様に、無垢材も木目や材色の濃淡で現れる表情などに違いがあるのです。一つとして同じ木目がない、世界にひとつだけの家具であることが、無垢材を使った家具の魅力といえます。そして、無垢材には、節や黒色・褐色の筋状の木目などが現れることがあり、樹種ごとに特徴的な木目は「キャラクターマーク」と呼ばれます。それぞれの材料の個性である「キャラクターマーク」は、自然の木材そのものであるという証なのです。

目はじき塗装の種類

(ボア=木の導管)

セミオープン塗装（セミオープンボア仕上げ）とは、導管の凹凸を完全に塗料で埋めることはせずに、導管をある程度残した塗装仕上のことです（具体的には2～8割程度を塗料で埋めるに留めます）。木材を保護する塗膜が十分に確保されつつ、無垢材固有の木目や肌目が表現されるこの仕上げは、オープン仕上げとクローズ仕上げの中間に位置します。

KASHIWA の塗装

